



活動報告

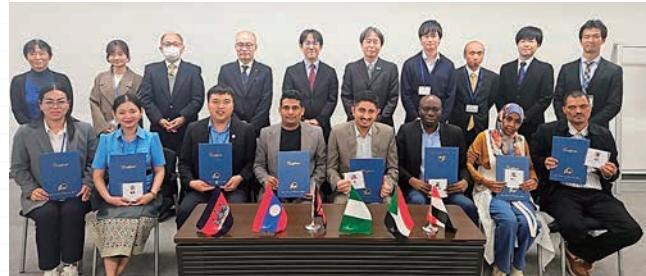


2025年度 JICA 課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」（10月8日～11月14日）

本協会が独立行政法人国際協力機構（JICA）から受託している課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」を10月8日から11月14日までの約6週間で行った。

今年度で58回目を迎える本研修には、カンボジア、ラオス、ネパール、ナイジェリア、スーダン、イエメンの6カ国より8名の研修員が参加した。

当該国における水道施設や水道事業の運営に指導的役割を果たす技術者を養成することを目的に、国土交通省・水道事業者・研究機関・民間企業の協力を得て、講義・視察・演習を実施した。



水道技術管理者資格取得講習会（大阪会場：10月21日～11月11日、オンライン第2回：11月4日～26日）

水道法施行規則第14条第3号による登録講習機関として、158名（大阪会場：79名、オンライン第2回：79名）の参加を得て、「水道行政・水道経営」、「水質管理・公衆衛生・衛生管理」、「水道基礎工学概論」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は、この後に「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合する済設備を有する水道施設において、15日間の実務講習を行う。

漏水防止講座（東京会場第2回：11月5日～7日、大阪会場：11月19日～21日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々88名（東京会場：59名、大阪会場：29名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センター（東京会場）及び大阪市水道局体験型研修センター（大阪会場）において研修会を実施した。「漏水防止概論」、「配水量分析」、「漏水防止対策」、「事故事例・安全対策」、「管路の情報管理」、「漏水探査」、「管路の保全対策と修繕」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用した実地研修を行った。

配管設計講習会（北海道会場：11月5日～7日、中部会場第2回：11月26日～28日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々64名（北海道会場：33名、中部会場：31名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

水道事故防止研修会（東京会場：11月6日～7日）

浄水場の運転・維持管理に従事する技術職員の方々44名の参加を得て、労働災害及び事故の防止に資すること、水道管路及び浄水場等における事故の未然防止や職員の危機管理対応力の向上等を目的として、「浄水場におけるリスクアセスメント」、「水道事業に関わる事故事例と再発防止策」、「水道事業における危機管理」について研修を実施した。ディスカッションでは、グループごとに事故の原因や再発防止対策等について、さまざまな事例を基に討議を行った。

第41回給水装置に関する規格専門委員会（11月7日）

JWWA B 108（水道用止水栓）、JWWA B 116（水道用ポリエチレン管金属継手）、JWWA B 136（水道用ポリエチレン管サドル付分水栓）及びJWWA G 116（水道用ステンレス鋼钢管継手）の4規格の、各規定値等の改正について、審議を行った。

第189回水道技術管理者協議会（11月11日、12日）

初日は、本協会工務部長、本協議会議長、開催地である前橋市 膽熊公営企業管理者の挨拶の後、前橋市水道局 金子水道整備課課長より「前橋市の取組み」について、本協会 本荘谷工務部長より「水道事業を取り巻く環境の変化」の発表を行った。

翌12日は、前橋市水道局 敷島浄水場の視察を行った。

水道技術者研修会（Aコース：11月11日～14日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年未満）の方々74名の参加を得て、「水道計画」、「水道基礎工学」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「水源・取水・貯水施設」、「導・送・配水施設」、「浄水施設」、「機械・電気・計装設備」、「水質管理」、「給水装置」について研修を実施した。

第796回抄録委員会（11月12日）

茨城県企業局霞ヶ浦浄水場で開催し、施設見学を行った。その後、会議では文献抄録対象原稿の選定等について審議を行った。



第153回事務常設調査委員会（11月12日）

はじめに、審議事項①「委員長・副委員長の互選」を行い、委員長には、大阪市水道局の西山総務部長を、副委員長には、札幌市水道局の加藤総務部長、名古屋市上下水道局の入江総務部長を選任した。



次に、審議事項②「事務常設調査委員会における調査審議」として、現在、事務常設調査委員会から各専門委員会に付託されている調査審議事項を確認した。

続いて、審議事項③「各専門委員会の調査審議状況」として、経営調査専門委員会・人材マネジメント専門委員会・広報専門委員会より報告があった。その後、質疑応答を行い、各専門委員会では、引き続き、現在の方向性で調査審議を続けることが確認された。

続いて、審議事項④「今後のスケジュール」として、今年度の調査審議のスケジュールについて事務局より説明があった。

その後、水道の基盤強化に向けたワークショップとして、「水道事業における公費負担のあり方について」事務局から講演の後、委員と事務局によるフリーディスカッションを実施した。

最後に、報告事項①「水道の基盤強化ミーティング」、②「体験型水道イベントの実施」、③「情報発信スキルアップセミナー」について、事務局から報告を行った。

第1040回会誌編集委員会（11月18日）

千葉県企業局ちはば野菊の里浄水場で開催し、施設見学を行った。その後、会議では本誌12月号の編集方針、投稿原稿の査読状況等について審議を行った。



第49回水道施設に関する規格専門委員会（11月20日）

JWWA B 137（水道用急速空気弁）、JWWA Z 103（水道用バルブのキャップ）及びJWWA K 153（水道用ジョイントコート）の3規格のJIS改正対応、各規定値及び試験方法等の改正について、審議を行った。

第211回水道 GLP 認定委員会（11月25日）

水道 GLP 認定について審議した結果、一般社団法人山梨県食品衛生協会（JWWA-GLP046）、浜松市上下水道部（JWWA-GLP050）、釧路市上下水道部（JWWA-GLP052）、一般財団法人広島県環境保健協会（JWWA-GLP133）、公益財団法人ふくおか公衆衛生推進機構（JWWA-GLP134）及び日本環境科学株式会社（JWWA-GLP150）の認定更新を決定した。



また、徳島市上下水道局（JWWA-GLP142）の認定維持を決定した。

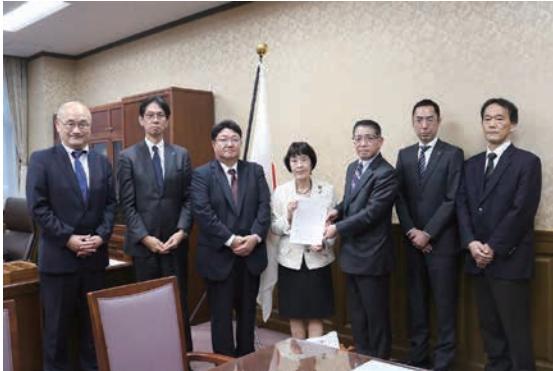
令和7年度第3回運営会議（11月26日）

本協会の青木理事長が議長となり、報告事項1「令和8年度水道関係予算に関する緊急要望の実施報告」、報告事項2「令和7年度日本水道協会全国会議の実施状況」、報告事項3「水質管理向上のための水質応援プログラムの設立」、報告事項4「『水道の基盤強化ミーティング』の実施状況」、報告事項5「令和7年度情報発信スキルアップセミナー」、報告事項6「令和8年度日本水道協会研修会開催予定」、報告事項7「能登半島地震に係る中長期の職員派遣」について事務局から報告があった。



続いて、第1号議案「日本水道協会第107回総会会員提出問題の処理等」、第2号議案「令和8年度日本水道協会全国会議の開催期日及び会場」がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、地元選出国会議員、関係省庁等に対し陳情を行った。



高橋財務大臣政務官への陳情



上田国土交通大臣政務官への陳情



自由民主党国土・建設関係団体委員会委員長
国定衆議院議員への陳情



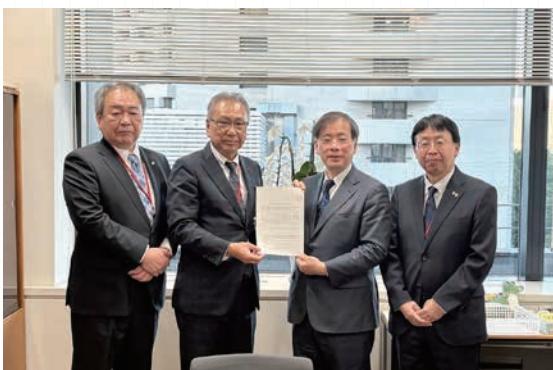
自由民主党水道事業促進議員連盟幹事長代理
井林衆議院議員への陳情



自由民主党水道事業促進議員連盟事務局長
川崎衆議院議員への陳情



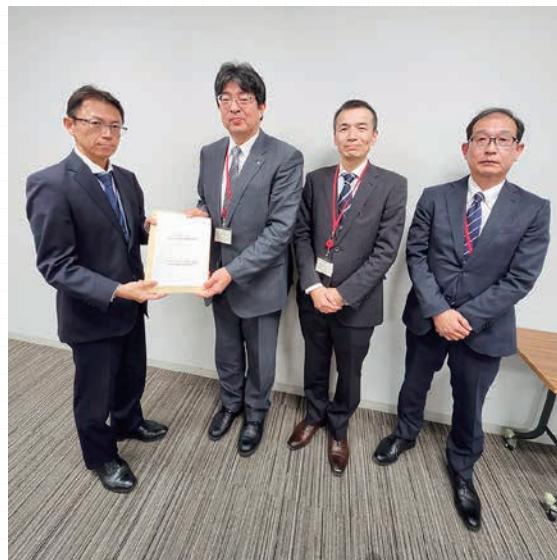
東環境省水・大気環境局水道水質・衛生管理室長
への陳情



福島総務省自治財政局官房審議官への陳情



河野復興庁環境班参事官への陳情



杉本内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（食事支援担当）

第169回水道事業管理者協議会（11月27日）

はじめに、情報交換事項として「①情報分野に精通した担当職員の育成・確保などについて」、「②水道料金改定に伴う水道料金審議会の進め方について」、「③水道料金収納におけるeLTAX導入状況について」、「④運搬送水の実施状況について」の4題について、それぞれ情報交換を行った。



最後に、事務局から、「①情報発信スキルアップセミナーについて」、「②体験型水道イベントの実施報告について」の報告を行った。

令和8年度水道関係政府予算対策室（11月27日）

水道事業の基盤強化及び水道施設の耐震化促進・強靭化のため、令和8年度水道関係予算の確保に向け、「令和7年度水道関係政府予算対策室」を設置した。

